

# 花川病院

片桐 一敏(リハビリテーション部 教務主任 / 作業療法士)

**功 績** 臨床・教育・研究を通じて当院作業療法の質向上と人材育成に大きく貢献するとともに、全国でも取得者が極めて少なく、北海道でもわずか2名の専門作業療法士資格を取得した功績。

**推薦者氏名** 岡本 康世 (リハビリテーション部長)

**推薦理由** 片桐一敏は、豊富な臨床経験と教育歴を基盤に、当院リハビリテーション部の教育体制整備、研究活動の推進、脳卒中作業療法の専門性向上に継続して取り組んでいます。専門作業療法士資格の取得も含め、その実績は理事長賞にふさわしいものですので理事長賞に推薦します。

## 内 容

片桐一敏作業療法教務主任は、当院入職以来9年にわたり作業療法士として臨床業務に従事し、現在はリハビリテーション部教務主任として教育・研究活動の推進にも中心的に取り組んでいます。作業療法士歴26年、作業療法学修士としての学識と経験を生かし、脳卒中患者等の機能回復を中心とした臨床実践を重ねながら、臨床に根差した研究活動を継続してきました。

これまで、日本作業療法学会、北海道作業療法学会、日本リハビリテーション・ケア合同研究大会などにおいて多数の学会発表を行い、臨床で得られた知見を積極的に発信しています。さらに、2024年11月には日本作業療法学会で座長を務め、2025年6月には北海道作業療法学会で教育講演および研修会講師を担当するなど、学術活動と後進育成の両面において重要な役割を果たしています。

また、片桐は作業療法士養成校で約10年間専任教員として勤務し、多くの作業療法士を育成してきた教育経験を有しています。その経験を基盤として、当院では若手療法士に対する教育、研究指導、臨床推論を重視した育成体制の構築に尽力しており、リハビリテーション部全体の教育水準向上に大きく寄与しています。

加えて、2026年2月には日本作業療法士協会認定の専門作業療法士(脳血管障害)を取得しました。この資格は、高度な臨床実績、研究活動、学会発表等を基に審査される専門資格であり、全国でも取得者が極めて少なく、北海道でもわずかな取得者数にとどまる希少な資格です。このことは、片桐が脳卒中リハビリテーション領域において高い専門性と実践能力を備えていることを示すものです。

片桐の取り組みは、当院における作業療法の専門性向上のみならず、教育体制の充実、学術活動の推進、ひいてはリハビリテーション医療全体の質向上にもつながっています。臨床・教育・研究の各領域において模範的な実践を重ねていることから、理事長賞受賞者としてふさわしいと考え、ここに推薦いたします。